

農研速報

麦の生育状況(3月4日現在)

地域名	麦種(品種)	生育ステージ	対平年遅速 (茎立期から予測)	生育(作柄・品質)概況等	備考
水戸	11月6日播種 小麦 (さとのそら) 六条大麦 (カシムムギ) (カシマゴール)	節間伸長開始期 ～茎立期	11日早い	生育状況(過去5年間の平均値との比較): (11月6日播種) ●さとのそら 主幹葉数は平年よりかなり多く、草丈はかなり高く、茎数は平年より少なかった。 ●カシムムギ 主幹葉数は平年よりかなり多く、草丈はかなり高く、茎数はやや多かった。 ●カシマゴール 主幹葉数は平年よりかなり多く、草丈はかなり高く、茎数は少なかった。 (11月20日播種) ●さとのそら 主幹葉数は平年よりかなり多く、草丈はかなり高く、茎数はかなり多かった。 ◇主稈長から予測した茎立期 (11月6日播種)さとのそら:3月11日頃、カシムムギ:3月3日、カシマゴール:2月27日 (11月20日播種)さとのそら:3月28日頃 ◇気象概況:2月15日～3月3日(過去5年間の平年値との比較) 上記期間の平均気温は7.2℃で、平年(6.5℃)より高かった。降水量は69mmで、平年並(56mm)だった。日照時間は108時間で、平年並(114時間)だった。	【留意事項】 ・「対平年遅速」は、主稈長から予測される茎立期を基に表記した。 ・「幼穂形成期」は40～50%の茎に小穂始原体が分化した日 (主茎幼穂長2mm以上を目安) ・茎立期は主稈長が2cmに達した日。 【今後の管理】 ・状況に応じて追肥を実施する ①生育が不足している場合:茎立期 ②適正な生育量の場合、小麦:出穂15日前、大麦:出穂期 ③生育が過剰な場合:追肥しない ・幼穂凍死の危険があるため、低温遭遇時は遭遇日の4～5日後を目安に幼穂を確認する。
		茎立期 節間伸長期	9日早い 11日早い		
	幼穂形成始期 ～幼穂形成期	2日早い			

表 畑における生育(水戸市 茨城県農総セ農研 作物研究室)

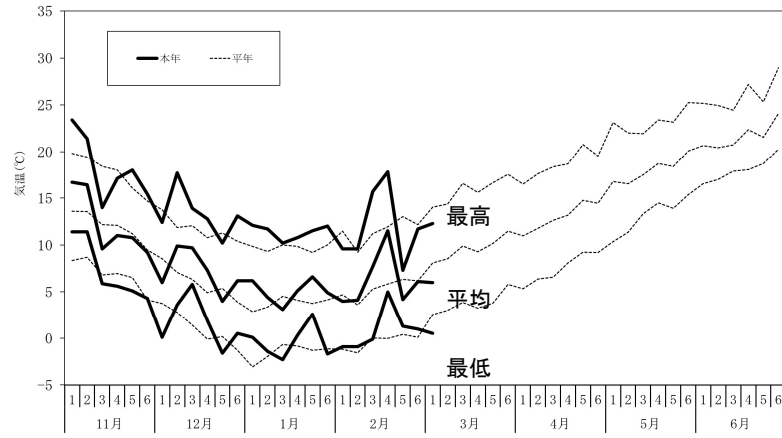
播種期 (月・日)	麦種	品種名	主稈葉数			草丈			茎数			葉色(SPAD値)		
			本年 (枚)	前年差 (枚)	平年差 (枚)	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/m ²)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (%)	前年比 (%)	平年比 (%)
11.6	小麦	さとのそら	9.7	+1.8	+1.8	24.6	168	148	1,507	90	88	41.5	84	87
		カシムムギ	8.9	+1.4	+1.3	26.4	145	148	1,270	98	107	48.9	90	92
	六条大麦 カシマゴール	9.5	+1.3	+1.2	28.7	144	146	1,168	74	86	38.0	90	90	
11.20	小麦	さとのそら	7.8	+1.6	+1.7	19.1	185	171	1,457	120	144	41.4	83	87

播種期 (月・日)	麦種	品種名	主稈長			主稈幼穂長			主稈長から予測した茎立期(月・日)				
			本年 (mm)	前年差 (mm)	平年差 (mm)	本年 (mm)	前年差 (mm)	平年差 (mm)	今後の気温の推移(平年比)			平年値 ⁷⁾	
									-2℃	0℃	+2℃		
11.6	小麦	さとのそら	14.9	+10.3	+6.8	3.3	+2.0	+1.6	3.13	3.11	3.09	3.22	
		カシムムギ	23.2	+15.5	+9.9	5.8	+2.3	+1.5	(確定)	3.03	3.12		
	六条大麦 カシマゴール	54.8	+45.8	+39.0	8.7	+4.7	+3.7	(確定)	2.27	3.09			
11.20	小麦	さとのそら	5.5	+1.9	+1.0	1.4	+0.4	+0.3	4.03	3.28	3.23	3.30	

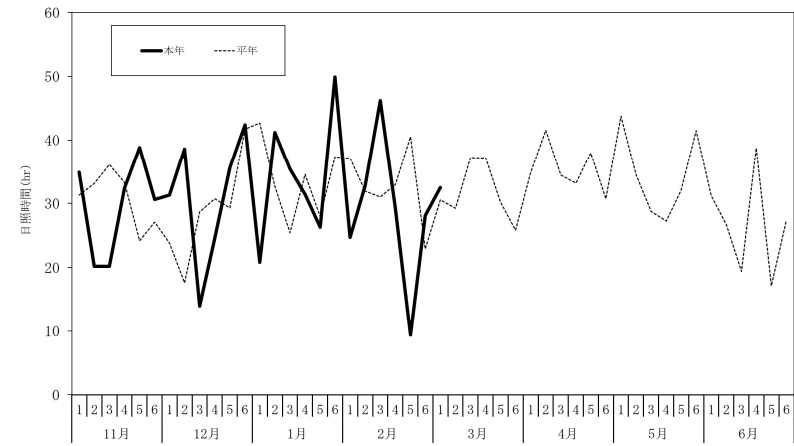
耕種概要 1)圃場(来歴):表層腐植質黒ボク土(前作休耕畑) 2)播種量:0.8kg/a
3)施肥量:N-P₂O₅-K₂O=0.6-0.6-0.6kg/a 4)播種様式:畦幅30cm、シーダーテープ播種
5)平年値:平成30年～令和4年播種の結果の平均。 6)麦踏み:12月18日(11月6日播種)、12月27日(11月20日播種)、1月26日、2月15日
7)茎立期の平年値は主稈長の平年値を予測ファイル(平年差0℃)に入れ計算した値

麦(令和5年播種)における半旬別気象経過図
 (水戸地方気象台データを参考にして作成。平年値は過去5年間の平均値)

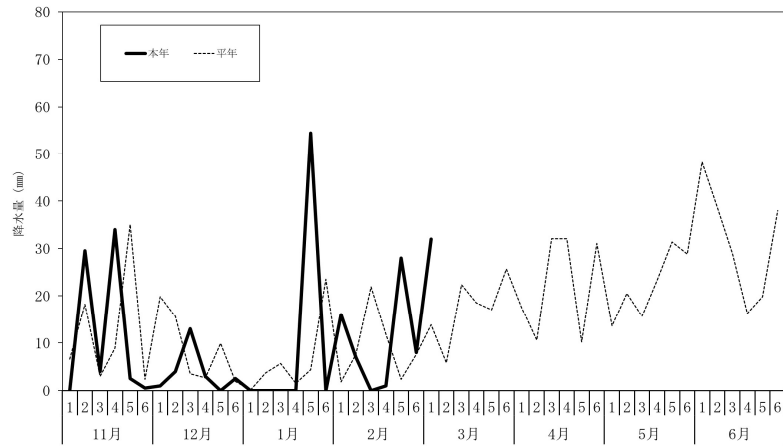
気温



日照時間



降水量

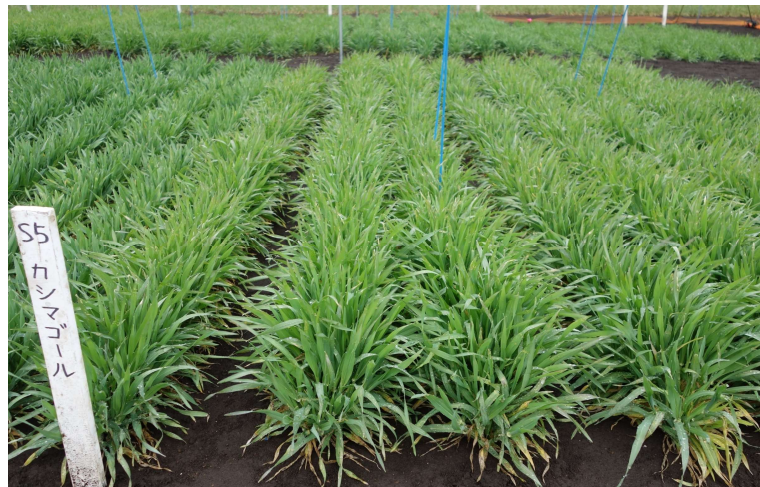




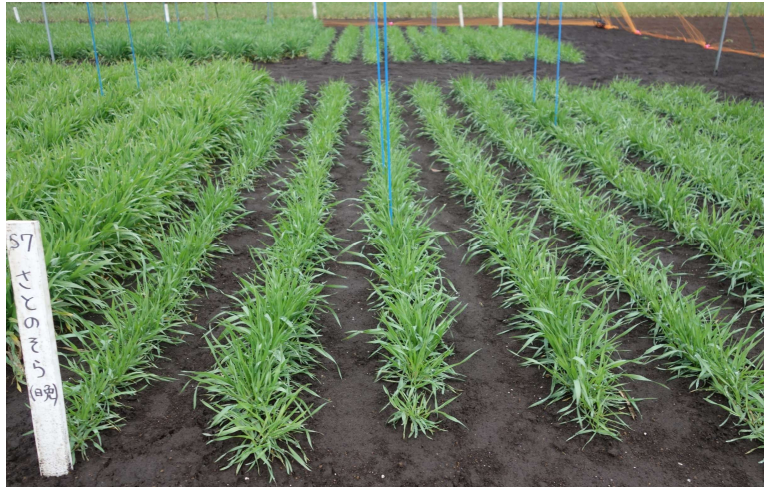
さとのそら 11月6日播種 (3月6日撮影)



カシマムギ 11月6日播種 (3月6日撮影)



カシマゴール 11月6日播種 (3月6日撮影)



さとのそら 11月20日播種 (3月6日撮影)

気象概況および生育状況における表現について

平年値(過去5年間の平均値)との違いの程度を、「低い(少ない)」、「平年並」、「高い(多い)」等の階級区分で表しています。各階級の幅は、下図のように、統計期間における出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めています。さらに、「低い(少ない)」、「高い(多い)」については、補足的表現として下図に示す出現率となるように「やや」、「かなり」と表しています。

